



1年
鈴木 翔平くん

※幼稚園から習字を習ってます。書いているときの落ち着いた感じが好きです。

約束

一年 鈴木翔平



1年
鈴木 恵介くん

※普段書いている楷書とは違った書き方だったので、苦労しました。

約束

一年 鈴木恵介

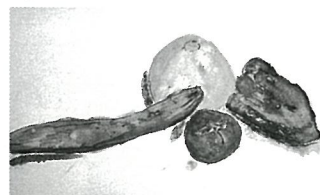


『グレープオレンジ
ピーマン』



1年
野村沙由里さん

※グレープフルーツのキズをそのまま書くなどを工夫した。かげもよく書けた。



『野菜や果物』



1年
長谷川直也くん

※自分でも思ったよりよくできた。特にグリープフルーツのキズがよくかけた。

あつまれみんなの力作



3年
越川 幸奈さん

※色を徐々に変えていくのがとっても大変でした。細かく丁寧に作りました。



『進化』



3年
椎名 美佳さん

※乾いた絵の具の固まりや部品をつけて私のイメージが伝わるように頑張りました。



『心の中』



ひかり俳壇



山崎 てい (二又)
青簾のめざめの機嫌よく
青簾を下けた室内にこ機嫌よく目覚めていた乳児に可憐さと安堵で心が安らいだ

大谷 武彦 (木戸)
本降りになんて黙せり雨蛙
一茶風の作品である。雨蛙の習性を当意即妙、軽妙洒脱に詠んで高句句となった

伊藤 幸枝 (尾垂)
吊橋を一人ずつ来る夏帽子
奥深い渓谷であろう、周囲の山々の緑と真白な帽子のコントラストが鮮やかである

布施 和代 (二又)
民宿は島の網元青すだれ
川島 通則 (二又)
磴のぼりつめれば本堂青簾

伊藤 定男 (尾垂)
青簾外は真昼日風眠る
川島 重一 (尾垂)
喪の簾悲しく軒に垂らしけり

大木 素風 (二又)
梅雨寒や巨杉に暗き男坂
鈴木とし子 (宝米)
簾越し話しのつきぬ親友と

土屋美枝子 (宝米)
青すだれ老いたる母の背にやさし
選者
選者 椎名しげる

青すだれ風に一日の疲れ脱け